令和元年度第４回袖ケ浦市公民館運営審議会

１　開催日時　　令和元年１２月１３日（金）　午後２時３０分開会

２　開催場所　　市民会館　２階　研修室

３　出席委員

委員長	稲毛　博夫	委　員	齋藤　隆彦
副委員長	長崎　容子	委　員	片寄　礼子
副委員長	大野　俊江	委　員	山田　まち子
委　員	庄司　三喜夫	委　員	遠藤　信子
委　員	代田　雅文	委　員	鈴木　利夫
委　員	田中　輝博		

（欠席委員）

委　員	早川　敦

４　出席職員

市民会館館長	濱崎　雅仁	長浦公民館副館長	花澤　吉敬
市民会館主幹	大野　正彦	根形公民館館長	平賀　栄三郎
平川公民館館長	小堀　正雄	根形公民館副館長	大田　知司
平川公民館副館長	加藤　寿起	平岡公民館館長	在原　徹
長浦公民館館長	石橋　健彦	平岡公民館副館長	多田　智子

５　傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	５人
傍聴人数	０人

６　議題

（１）市民会館・公民館まつりの実施結果について
（２）袖ケ浦市民生委員推せん会委員の推薦について

７　報告

（１）市民会館・公民館における避難所対応について
（２）令和２年袖ケ浦市成人式の取組み状況について
（３）第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員の推薦について

８　その他

（１）第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会について
（２）その他

９　議　事

稲毛委員長

議題１、市民会館・公民館まつりの実施結果について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料に基づき、濱崎市民会館館長、大田根形公民館副館長、多田平岡公民館副館長、加藤平川公民館副館長、花澤長浦公民館副館長が説明。）

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問や意見がございましたらお願いします。

鈴木委員

平川公民館の食事の場所という話がありましたが、体育館の後ろの方にスペースがございまして、そこで椅子を３０ぐらい並べて、子ども達お母さん一緒になって静かにその時間を過ごされている様子は見てきました。職員が椅子を並べてということでやっていました。

加藤平川公民館副館長

おっしゃるとおり、後ろの方にスペースを設けましたが、翌日は雨天となり、「ふわふわガウラ」やボールを蹴ってマトに当てるキックターゲットなど、外でできないものですから中に移動させました。そのスペースを確保しなければならないため、食事をとるスペースが少なくなってしまいました。

もう一つは今回台風１５号の被災により、ロビーの天窓部分が割れてしまいました。その修理が追いつきませんので、天窓の下の部分は皆さんに危険が及ぶ可能性がありましたので、その辺も含めて食事をとることのできるスペースが足らなかったということになります。

長崎委員長

台風の影響とか大雨の影響によってよくここまで公民館まつりができたっていうことは感謝申し上げたいと思います。どこの館も皆さん本当に周りの方もスタッフもみんなが協力し合って支え合ってここまで築き上げたっていうことは本当によかったと思います。

市民会館と根形公民館、平岡公民館は、天気に恵まれて来館者も多くて、市民

会館は特に外がすごくにぎやかで、その割には中に入るとホワイエですかあそこの利用が今一つ寂しかったなという感じが一つありましたが、でも来館者が多くてなかなか盛況でよかったと思います。

根形公民館は、外の売り場が寂しかったっていう感じはあるのですが、地域の方が集まって駐車場もいつも話題になっていますけどスムーズに今回は入れましたので、大変よかったと思います。

平岡公民館は、展示と販売の共存する会場では、落ち着いて観られないというのは、何か特別に販売に差し障りがあったっていうような強いご意見というものがあったのでしょうか。

多田平岡公民館副館長

展示と販売のスペースが同じですと、結構販売に対してわあわあやるので、じっくり観ようとしても観られないというご意見があったのですね。そのご意見はいただいてあったのですが、もう一つの団体との関係があって、２階のロビーで開催が可能かどうかということが確定できなかったので、展示の中で販売をやってしまったのですけど、やっぱりじっくり見たい人にはちょっと影響あるのではないかというご意見でした。

長崎委員長

私は特に感じなかったですけど、２階で二つの団体の方が展示のところで昼食をされていたのですね、それでそれがお蕎麦とか下で買ってこられたのを食べていたのですけれども、見ちゃ悪いっていうかそれがちょっと気になったので、他の館がよく分からないのですけど、たまたま平岡公民館のその時間帯に行ってその場面に出くわしたのですけど、やはり展示場で昼食をとるっていうことは、例年もずっとそうしていますか。

多田平岡公民館副館長

すいません把握してなかったです。

大野副委員長

平岡公民館でもそれはあったと思います。市民会館でも、あるサークル作品の展示の部屋でお昼を食べていて、みんなでわいわい食べながら話をしていて、やっぱり入って観るのは観づらいです。それは去年も感じたし、今年もその時間帯に行くとその場で食べていると、少しでもどこか隅によけていればよいのですけど、本当に作品の真ん中で食べているのですね。観るのに観えない、観ようとする真ん前のテーブルで、みんなで食べているから観づらいですよね。ちょっと端とかよけるとか他の会場で食事してもらえれば良いのですけど。

稲毛委員長
　昔は交代で食べる様にという形で動かしたはずなのですが、それがまたそういうふうな形になってきた。前は役員の人が何人かいるとその役員の中で、交代で、別な場所で食べてやるようにというような話をして、一時はそういうふうになったと思っていたのですけど、またそういうふうなことになるとやはりできるだけお昼は展示物のある場所ではなくて、決められた場所をたしかつくったはずです。

長崎副委員長
　調理室とかどうなのでしょう。

多田平岡公民館副館長
　調理室はその時間帯は空いています。その辺の周知もうちもしていなかったので、行き違いもあったかもしれないです。あと人がいないということで、一日をとおして従事するようになっていたかと思います。展示の。その辺もあったのかと思います。お話するようにしたいと思います。

在原平岡公民館館長
　例えばある団体など人数が少なくて少人数で回しているっていうような部分もあったりはするのですけど、もう一つそれとは別に展示物だという意識がどれだけあるかっていう、展示場なのだという意識を持ってもらうということを館の方からも指導していかなければならないなと思いました。スペースを区切って食事中ですという雰囲気を脇にでも避けてすれば、一般の方もすっと入れる、ちょっとした工夫でできるのかなと思いますので、何らか、展示場という意識の指導と、やり方を工夫して来年度はやっていきたいと思います。

長崎副委員長
　平川公民館はアンケートの工夫ができていてすばらしいなと、体験も多くて本当によかったと思います。地域住民の方が参加型から主体性を持つということが一番の公民館の目的、公民館まつりの目的だと思うのですけど、それがなされていたのが平川公民館だったかなと、ランク分け差別するわけではありませんが、すごくよかったと思います。いつもトイレにお花が飾ってあってすごく気持ちが良くて、いつ行ってもきれいで、すごくよい事だと思います。
　長浦公民館ですけれども、やはり雨の影響で、昨日も館長からお話もありましたけれども、青少年相談員の方が本当にご苦労なさってそういう方のご尽力があってこそ、公民館が支えられているっていうことを昨日本当に改めて痛感しましたし、公民館を支える方によって本当に助かっているのだなということをよかったと思います。

それからアンケートの比較ではありませんが、職員が変わったということもあると思うのですけど、アンケートが寂しかったですね。工夫が足りない、マンネリ化というか、社会教育推進員も頑張っているのですけれども、やっぱり企画したうえで、毎年同じようなことだと来ている方もまたおんなじっていう感想も出てくると思うのですね。そういうこともなるたけ職員と社会教育推進員と協力し合ってやっていただきたいと思います。長浦公民館の社会教育推進員は、本当によくやるのですね。今働き方改革でいろいろ話題になっていますけど、ボランティアで、館長の言った青少年相談員の方もそうですけど、皆さんボランティアで公民館を支えているっていうことを職員が意識して職員に頑張っていただきたいなという感想を特に持ちました。どうぞよろしくお願いします。

鈴木委員

平川公民館の場合は区長会の長が実行委員長で、職員も一丸となって協力してくれていますけど。職員、職員と、職員に対して厳しいじゃないですかね。

齋藤委員

根形公民館、今回はスムーズに駐車出来て良かったなと思います。空いているところまで案内もしてくれて大変助かりました。ただ、路上で駐車される方もまだ結構おられるようで、物品の販売だけ目当てに来られる方なのかなと思いますけど、それが目立つような感じがしました。

平岡公民館ですが、お子さんが結構目立ちました。イベントに出席するお子さんではなく、まつりのために来ているお子さんのようで、今回お子さんが多いなという感じがしました。

各館共通だと思うのですけど、飲み物や食べ物を持って館内をまわるお子さん、大人もいたかな、見受けられましたので、作品を汚すなどの心配もあるので、ある程度ルール作りもした方が良いのかなという感じもしました。

山田委員

全部の館をまわったわけではないが、どの館に行っても子どもたちの声があってよかった。催し物の内容を見ると講習会だとか親子教室だとか、そういうものがたくさんあって参加型の内容がたくさんあってよかったと思います。特に根形公民館の講習会を見たら定員がオーバーするぐらいで、かなりの方の参加者があったので、その辺が子どもたちの活気にあふれていたと思います。最初のオープンセレモニーも保育園だとか小学校の子どもたちも活動があったりなんかして、とても印象に残りました。

田中委員

まつりは公民館にとっても一番大きな事業だと思うのですけど、これの意義

と言いますか目的といいますか毎年のテーマですね、これをある程度前もって決めていると思います。パンフレットなどにキャッチコピーがありますよね。これがそれぞれの館のテーマを表していると思うのですけど、それに対する総括が見られないので、できれば自分たちのまつりはこういうことを考えてやっているのだよと、こういう目的でやっているというもののそれに対する総括を書いていただけると、また来年につながるという気がします。それから目的とかやる事業に応じて、収支報告がどうなっているのか、事業に応じて予算を申請してそれがちゃんと下りて、それをどう使ったのかということも、審議委員のみんなもわかりませんので、できたら総括の中に入れていただくか教えていただければありがたいなと思います。それとアンケートなのですけれども、まつり自体の存在の問題になるのでしょうけれども、何をカウントして求めているのかということも含めて、アンケートを各館取られて、それから次にそれをつなげていくというふうな形でお願いできたらなと思っております。

平岡公民館で、サークル活動をどう盛り上げるかという話がありましたが、これも一つの平岡公民館の今年のまつりのテーマじゃないかと思っていますので、これを次の来年度どう広げるのか、またどういうふうに次のテーマに結びつけていくかということも含めてお考えいただければありがたいと思います。

大野副委員長

長浦公民館で、青少年相談員が大変活躍されたという話がありましたが、各館で青少年相談員がどれぐらいかかわってどういう事業をしているのかということを聞きたいなと思ったのですけど。

濱崎市民会館館長

青少年相談員のかかわりということですけれども、実行委員に入っていただいています。あと二日間にわたりまして、模擬店を担当していただいています。かき氷と綿がしが二日間、二日目にはもちつきと餅の販売に携わっています。ご家族の方の協力を得ながら行ってもらっています。だいたい餅つきの時には6時集合であんこを煮るとか、そういうところから参加となっています。人数は１４人全員です。

花澤長浦公民館副館長

長浦公民館ですが、先ほどの協力というか交通整理の方は交通安全協会の方にやっていただいて、青少年相談員につきましては、例年揚げパンをやっていただいておりますので、長浦公民館の青少年相談員は、公民館まつりだけではなくて、各館もそうなのですが、その他のチャンピオン大会などの活動を実施しております。あと、催し物の中でちびっ子広場というのがあってそれ担当の青少年相談員が多目的ホールを使っていただいているという、この二点について公民館

まつりでは活動していただいております。人数については、行事が多くございますので、青少年相談員の中で担当を決めておりますので、此処ではちょっと把握していません。実行委員には入っています。

加藤平川公民館副館長

平川公民館も青少年相談員に実行委員に入っていただいています。主な活動は、おまつり広場での模擬店、フランクフルトや綿あめの販売に携わっていただいています。あと当館では、おまつりの最後に、最後まで人に残ってもらいたいという趣旨もあって餅投げをやっていますが、そういったところにも協力をいただいている状況です。餅つきは中富ふれすぽクラブが実施しています。

大田根形公民館副館長

公民館まつりには実行委員として入っていただいています。当日は、主には模擬店の方、フライドポテト、唐揚げ、いそべ餅といろいろ、３・４店舗ほど青少年相談員の方でやっています。その売り上げについては、チャンピオン大会やねこまろ、ディキャンプなどのイベント時に売り上げの一部を充てて子どもたちにかき氷を提供して頂いています。また学校に出向いてイベント時にフライドポテトなどを無償提供して頂いています。それから公民館まつりのときには、子ども達がふざけて怪我したりしないようにということで、敷地内の簡単な巡回のようなことをやってもらっています。

多田平岡公民館副館長

実行委員に入っていただいて、今年度はフランクフルトの販売をやっていただきました。ただ今年度商店が入った関係で、同じようなものになってしまったので、来年度は子どもたちと触れ合えるような企画にしたいというような意向を伺いました。二日とも販売に関わっていただきました。

長崎副委員長

１０月に、公民館まつりの販売に関する資料をいただいたのですけど、長浦公民館は販売のことで営利目的ではなく、個人の収入にしないでサークルとしての収益ということを強く書かれているのですけど、今年サークル作品の販売の方は長浦公民館では支障はなかったのでしょうか。

石橋長浦公民館館長

まさに収支報告については、そこが端を発して昨年の反省を生かして、第１回実行委員会でお話をしてお願いしてきました。結果として高額なものはなくて、ほっとしていたところです。なおかつ、収支については収入を個人のものにしないで、サークル全体のものとして、運営資金の一部にして下さいというのも周知

が徹底したらしく、そういう報告でした。完全になくなるということはなかったですけど、だいたい千円位かなということで理解していただくことができました。

稲毛委員長
他、質問が無いようですので、議題１につきましては終了いたします。
それでは、次に、議題２、袖ケ浦市民生委員推せん会委員の選出について、事務局より説明をお願いします。

事務局
（資料に基づき、大野市民会館主幹が、袖ケ浦市民生委員推せん会委員の選出について説明。）

稲毛委員長
こちらにつきましては、引き続き鈴木委員がやっていただけるということでございますので、よろしくお願いしたいと思います。よろしいですか。
よろしいようですので、議題につきましては終了します。
続いて、報告に入ります。報告１、市民会館・公民館における避難所対応について、事務局より説明をお願いします。

濱崎市民会館館長
各館の状況について順に説明します。
まず市民会館の状況をお話しさせていただきます。台風で自主避難所の開設はこれまでも年何回かありました。１階和室ですとか、２階講義室、２階和室など土足で入れない部屋、横になれるようなスペースを避難スペースとして用意しておりました。台風１５号の時も最初はそういう形で３室を用意し、避難者が多くなるにつれて中ホールや２階研修室を開放していきました。
まず、避難所の開設に当たり、事前に台風が来るという情報がありましたので、台風が接近する前に、それぞれの和室、講義室の利用者に対して、もし避難所となる際には、利用を遠慮していただきたいということを連絡させていただきました。この時はまだ台風の接近前でしたので、利用者に連絡がつきましたので、そのような形で部屋の提供をしましたが、台風１５号が過ぎて１９号となったときには停電となって電話も通じない、携帯電話が解るところはなんとか携帯電話で連絡をすることができるような状況でした。サークルの代表者には自宅の電話番号のほか、携帯電話の番号も把握しておく必要と今回思いました。また、今回の台風において市民会館と他の公民館との違いは、停電がなく断水もなかったということです。
避難所の運営では、健康推進課から、保健センターを冷房が効くため休憩スペ

ースとして部屋を提供していましたが、午後５時で閉めるということで、停電の中、帰宅しても暑くて小さいお子さんを持つ家庭にとっては大変なため、避難所を紹介してほしいという相談を受けました。また、生後１箇月の子どものいる家族の受入れについても相談がありました。中ホールで大勢が避難する場所での避難は、生後間もない子どもを持つ保護者にとって負担があると思いましたので、大ホールの楽屋を避難スペースとして割り当てました。楽屋には和室もあり、空調も効きましたので、そちらのほうに案内しました。そうしましたらすぐ次に来たのが生後３週間の乳児がいるということで、この２家族を楽屋に案内しました。その後妊産婦の避難がありましたが、楽屋がふさがっていましたので、館長室を提供し楽屋があいたらそちらに移動してもらいました。

また、車いすの方も避難してきましたので、身障者用トイレの前の研修室を避難スペースとして割り当て、台風１９号の際、段ボールベッドが届きましたので利用していただきました。

さらに、児童養護施設や高齢者施設など、施設全体での避難もありました。特に、児童養護施設は電気が止まりましたので、受け入れることとしました。ただその中で、発熱と嘔吐と体調を崩している子どもがいましたので、保健室のような急病人のための部屋を確保しなければならず、急遽２階和室に避難されている方に移動していただいてそこを保健室代わりにあてました。そういうような配慮も必要なことがありました。このように様々な方が台風被害で避難され、受け入れ先として様々な体験をしました。

次に、避難所の運営の体制ですが、市民会館は私を含めて職員は４名です。この職員だけでは避難所の運営はうまくいきませんので、教育委員会と市民健康部からの応援があり、基本的に施設の職員は日中の配置で、応援の方は夜ということで、公民館職員が連続して何日も何十時間も連続して避難所運営に携わるということは幸いにしてありませんでした。

また、電気が通っていましたので充電場所として施設を開放しました。1階ロビーや1階会議室等に充電スペースを設けましたが、そのことがロビーを繁雑にし、実際に避難された方と充電に来られた方がわからなくなってしまいました。受付場所を通らずに避難場所に入ってしまったり、受付の際、帰宅するときには声をかけてくださいといってあったにもかかわらず、黙って帰ってしまったりして、実際今ここに何人の方が避難しているのか実数の把握が出来なかったというのが反省しなければなりません。

それから、９月１０日に団体から差し入れをしたいということがございました。また、１１日、１２日には避難者である児童養護施設が自分たちの食事のほか、多めに食事を用意していただき避難されている方に配っていただきました。さらに近所の居酒屋の方が弁当を作ってきて配っていただくなどのお心配りがありました。

最後に、避難所を開設しますと職員は避難所対応で手一杯になります。通常業

務を一旦止めて避難所対応に当たることになりますし、避難所閉鎖後も施設が被害を負っていますので、その被害の復旧ですとか、予算の要望ですとか、そういったこともあってなかなか通常業務にスムーズに戻ることが難しい状況でした。委員長のあいさつで触れられた、研修での講師の言葉のように、非日常から日常に戻るときに、すぐに公民館事業をやらなければならないということがありますので、避難所であっても通常に戻ったときのことを考えながら避難所の運営管理をしなければならないということ。日常に戻ったときに時間がないという状況もありましたので、そこを考えておかなければならないと、今回の避難所経験の中でそう思いました。

加藤平川公民館副館長

平川公民館が課題としてとらえていることは、主に人と物と情報の三つになります。まず、人でございますが、公民館が避難所になりますと、台風１５号の時は、予想をはるかに超える被害があったということで、夜中から朝方にかけて、突発的にいろんな方が訪れました。家が被災しまして住めない状況にあるということで来た方がいらっしゃいます。そういった方の対応に１５号は取られました。その後の物資の供給や避難者の対応でありますとか、人員的には本庁からの応援はありましたが、場合によってはもう少しの配置が必要だったかなとも考えます。そこで一つ考えなくてはならないのは、避難所で皆さんが公民館を頼ってくるという立場にありますので、公民館に寄せられる情報と、公民館から発信する情報。発信する情報をどうやって伝えればよいのかといったところが必要になってくると思います。特に今回公民館の職員が相談受けまして、公民館事業等で顔見知りの方に直接お願いして解決したものも多々ございました。そういうこともありますので、平時においては、顔の見える関係にいかになっておくかと、災害だけではなくいざというときに協力ができるような関係性を築いておくことがいかに大事かということで考えております。緊急時においては、誰がどういったことをするのだと、例えば自治会の役員は地域の情報を得てその情報を公民館に知らせて被害の状況を出すだとか、災害時のルール作り、こういったものも備えておくべきなのかなという風に考えています。

次に物という部分ですが、施設を管理しているうえで、常日頃から公民館内の安全点検や、そういったものをもっと綿密にやっておくべきなのかなと改めて実感しました。特に今公民館だけではなく施設は大規模改修が難しい状況にあります。予算の面もあり公民館全体をメンテナンスすることが難しい状況にありますが、そこは常日頃からの点検を綿密にして、小破修繕をその都度していくことが必要になるかと思います。それに関していえば今回当館職員が修繕に手慣れた職員が館長を含めて複数いたことから、屋根に上って直したり、コーキングなど、そうことをやりましたが、常日頃からの備えも必要と考えてございます。

最後に情報ですが、今回私どもが一番苦労したのがこの点です。本部との情報、

あるいは地域との情報連携、こういったところが、非常にうまくいったところもあれば、もどかしさを感じるところもありました。先ほど申し上げました通り、平常時からこういったときにはどういった命令系統とするのか、あるいは情報をどういったところで共有するのかといったところは検討していかなければならない課題だと思っております。

花澤長浦公民館副館長

長浦公民館ですが、台風１５号の時は６名の方が避難してまいりました。報道を見て怖くなってということで、土曜日の夕方にシルバーカーで、長浦駅前から来た方もいました。１５号がまさに通過している午前３時頃に、家にいたら飛ばされると思ってその中で来た親子の方がいました。家は怖くていられないから来たと。大変な思いをして来られました。

１９号の時は１７０名避難してきました。どういうふうに避難所として対応しようかと事前にシミュレーションしておりました。まず事務室の前にある多目的室から、大きな部屋から埋めていって、次に多目的ホールを埋めた。障がいがあるなどで大きい部屋にいられないと申し出があった方などは、２階の小部屋を埋めていくというような形で、最終的には部屋が全部埋まるような状況になりました。その中で避難してくる方の個人の把握が難しいのかなというのは感じております。一人で避難してきた場合には連絡先を聞くのですが、離れたところに親類がいるのかという話など。そうすると、この方の持病は何なのか、お薬を持ってきているのか、そういったことまで把握していないと、具合が悪くなった時に大変だなというのは感じております。全体的な話になると思うのですが、避難してくる方は、避難する準備の中に、避難者カードのようなものを持ってきていただいて、それを出せばすぐにわかるような仕組みというのは、難しいと思いますが必要だと思いました。

あと、実際対応する職員が被災し、自宅周辺への対応もしなければならない状況でもあり、難しさを感じました。また、長浦公民館は行政センターが併設されております。１５号台風の時に明け方の４時頃に停電して、金曜日に復電するまで、行政センター機能が停止しましたので、行政センター職員がブルーシートの配布などに対応にあたり、非常に心強かったです。市内で活躍している災害対策コーディネーターの方が積極的に受付等を支援していただいた関係で非常に助かりました。

２１号台風による大雨の時には、帰宅困難者の避難があり一人が泊っていきました。佐倉市在住の女子高生が帰れなくなったということで、大変な状況であったのかなと思います。

今回の災害で１７０人の避難者がいる中、喫煙所は離れたところにありますから、そういったものやペットの問題もありました。ペットを連れて避難したい方には状況を説明してご遠慮いただきましたが、車で待機していた方もいたり

しました。大人数が避難してくる中での、対応の難しさというのを痛感しました。

大田根形公民館副館長

台風１５号の時に長期間停電になりまして、施設内の水道が使えない、水洗トイレも使えない、テレビもつかない、パソコンもネットワークがつながらないという状況で頼りになったのは、停電時対応の電話のみという状況で避難所対応をしておりました。当初、災害対策本部の方針で根形公民館では支援物資の配布をしていません。のちのち根形公民館でも支援物資の配布をするようになりましたが、これだけの災害にあった経験がなく手探り状態で動いている状況であったと思います。実際根形公民館もああした方が良いじゃないか、こうした方が良いじゃないかというのがあるのですが、問い合わせをして指示が出て動くというのが結構ありましたので、今後は現場の避難所の職員である程度の判断をさせてもらわなければいけないと正直感じております。

台風１５号の時には、避難して来た方が５名で、多くは一人暮らしの方が一人では家にいられないということで避難させてほしいという方がいました。また、玄関のガラスが割れて風が吹き込んでくるので、今から避難したいという電話が来たのが深夜の３時半頃にありましたが、今来られたら怪我をするのでもう少し家で待機してください、明るくなって若干風が弱まったときに避難をしてもらった経緯がありました。１０日間ほど根形地区通電せず、特に根形の台に住んでおられる方は、上水道をひかないポンプ井戸の家も結構あり、そういった方が、水道本管に繋がっていて唯一使えた運動広場の水道に水を汲みに来る方が毎日いらっしゃいました。

１５号の被害を受けて１９号の時には１２０名ほど避難されました。職員が３人しかいませんので、受付と案内で手一杯になりました。施設管理委託しているシルバー人材センターにも従事していただいて、そこに応援の職員も入って６人体制で対応しました。ただしどうしても、夜泊って日付変わって次の日も日中勤務ということで２名のシフトを組みましたが、職員に関しては夜勤務して、そのまま日中も勤務し、家に帰れるのが夜８時頃というような連続勤務も結構ありましたので、避難所開設した場合には配置の職員だけでは難しいのかなというのは感じました。広報無線もだいたい１日くらいでバッテリーが上がってしまいますので、広報無線も聞こえない状況で、地域の高齢者の方たちに何も情報が入ってこなかったということは後日いろいろ言われましたけれども、そういう部分も含めて公用車を使うなりして、地区内を巡回して情報提供をする必要はあるのかなと思いました。

多田平岡公民館副館長

台風１５号の際には避難者が１６名おりました。早い方は、９月８日の午後６時頃から避難されてきていたのですが、９日の午前４時に来た方がいました。門

が開いていないという電話が入り確認したところ、土のうも積んで門扉を抑えていましたが、風で土のうが外れ、門が閉まってしまいました。おまけに停電になってしまい、避難所を開設していないのかと電話が入り、職員が大雨風の中、木も倒れていた状況で、ヘルメットもつけず出て行ってしまったので、その辺もう一度ヘルメットをかぶるなりきちんと装備をして、出て行った方が良いのではなかったかと反省したところです。

平岡地区は断水になり、１０日の朝から給水車が配置されました。川崎からも応援で給水車が来て、その方たちは川崎に帰ることもできずに泊まるということになりましたが、氣志團万博が控えており、宿泊場所が全然取れないということで、平岡公民館で夜９時頃まで活動した後、大多喜の方まで帰るという話をされていました。その辺が酷なのではないかと思いました。１５号の時に、備蓄倉庫にある発電機が壊れて機能しなかったため、日頃から備蓄倉庫はきちんと点検、本来であれば危機管理課ですが、危機管理課も手が回らない状況もあると思いますので、こちらの方で点検するなりその辺の対応が出来たのではないかと感じております。

１５号の時には避難者が１５人ほどでしたので、２階の和室で対応していたのですが、午前４時に来た方が小さいお子さんを連れたご家族でしたので、視聴覚室に避難していただきましたが、その視聴覚室が雨漏りし始めてしまい、バケツを置いてしのいでもらうという状況でした。朝起きますと、倒木ですとか枝木の散乱がありました。停電はしているような状況でしたので、職員と管理人は枝木の散乱の片付け作業に追われました。平岡公民館から野里に抜ける道に木が倒れて道をふさいでいる状況でしたので、すぐに業者を頼みまして処理をして頂きました。

台風によって、勢力とか状況が違う関係がありまして、１５号の時には視聴覚室と多目的ホールに雨漏りが発生しましたので、１９号の時に避難所としてどうなのかなという懸念があり収容人数に影響が出るのではないかと思いました。また、１９号が来る前にドレン清掃を業者に依頼しましたが、業者も１５号の後で来てもらえず、１９号でその場所から大雨漏りをしてしまいまして、避難して来た方に水かき作業をしてもらったような状況になってしまいました。避難して来た方は文句も言わずお手伝いしていただき本当に申し訳なかったなと思っています。雨漏りが始まったのが午後２時くらいからポツポツきまして、ピークを迎える夜中の１１時くらいまで職員等でやっておりました。次の日も公民館の中ひどい状況だったのですが、体育振興課の職員が来て手伝ってくれまして、早期に復旧したところです。

救援物資は平川公民館で配布していましたが、広報無線で、「ひらかわ」と「ひらおか」を聞き間違えて来る方がかなりいらっしゃいまして、入口すぐのところに救援物資の配付状況を掲示してあったにもかかわらず、窓口までお見えになってブルーシート下さいという方が多くあり、その都度ご案内したところです。

ボランティアで炊き出しを大野副委員長もして下さったようですが、地区の民生委員の方が声をかけて炊き出しをした際には調理実習室を提供できる状況にありました。

避難者対応について根形公民館でもありましたが、人数で対応困難な部分も感じました。最初に配置されたのが２人でしたが、避難者の方がお見えになって受付する作業があり、避難場所に案内する作業があり、次から次に入ってくる人の案内もありますので、実際に２人体制では厳しいので、もう少し応援が必要と感じたところではあります。平岡公民館は周りに木が多いため、倒木等の対応に困ることから、今日から大きな木の伐採に入り、今後に備えるように対応を取ったところでございます。

代田委員

ちょっと教えて欲しいのですが、避難所と自主避難所の定義と言いますか、避難所と自主避難所の違いを教えてください。

花澤長浦公民館副館長

自主避難所については、報道を見たりして自主的に避難してこられるというようなことで、避難所は、こちらから避難してくださいとかその後の避難指示が出たりした場合で、どこから避難所になるかというのが難しいのですが、受け入れる公民館の体制としては、どちらも同じです。

大野市民会館主幹

対策本部の方で避難勧告を出すと、避難してくださいということなので、避難所を開設します。その前に自主的に避難したい方を受け入れる場所が、自主避難所になります。

多田平岡公民館副館長

自主避難所の場合には、飲み物、食べる物、寝具等はご自分で用意してきてくださいという形でのご案内になります。

代田委員

だいたいわかりました。その判断は公民館でされるのですか。本部ですね。わかりました。

片寄委員

私自身避難所がどう運営されているのか全く無知でわからなかったのですけれども、本を借りて読んだりしたのですけど、袖ケ浦市の場合は各館共通の公民館の避難所対応マニュアルというのは示されているのでしょうか。それとも各

館独自で作っておられるのでしょうか。

濱崎市民会館館長
　公民館のマニュアルではなくて、市の対策マニュアルに基づいて対応しています。

大野副委員長
　先ほど自主避難は、飲み物、食べ物、寝具等はお持ちくださいということですが、避難所となった場合は、今回こっちの方が多くの方が避難されていると思いますが、その場合も飲み物、食べ物の支援はあったということですか。

花澤長浦公民館副館長
　各公民館には備蓄倉庫がございまして、その中には毛布、水、アルファ米がございます。自主避難所だから何もやらないというわけではなくて、公民館としては今回の台風のような場合は予め備蓄倉庫から事務室の方に用意しておりまして、万が一自主避難で来られた方で何も持ってきてない方には本部に確認などして、毛布を提供するとか、そういった体制ではあります。避難所としては、今回の台風の場合は備蓄についても本部の方の備蓄倉庫から国がやるプッシュ型支援のように段ボールベッドが届いたり、マットが届いたりアルファ米、水についても追加で届いたような感じで、避難の方とか、取りに来た方に配布していたような状況です。

加藤平川公民館副館長
　自主避難所の場合ですと、まだ周辺にコンビニも開いていますし、実際に自分で手に入れようと思えば手に入れられる状況にありますので、基本的にはご自分で用意していただきます。避難所になる場合は、避難勧告が出てからの話ですから、そのような状況になりますと断水であるとか、食糧物資の流通が出来ないというところがございますので、そういった事態に陥った場合に、私どもはその辺の支援を積極的にしていかなければならないというような判断です。

大野副委員長
　物資は避難した方には間に合えるだけ提供できたということですね。

加藤平川公民館副館長
　アルファ米や水などは、備えていたものを提供し、用意できなかった分はこういう災害時にお互いに供給しましょうというものが事前にできておりますので、そういうところに頼んで、供給をいただいたところでございます。

大野副委員長
　長浦公民館が、自主避難の人にも持ってこない人には提供したという話がありましたけれども、各館全部がこういう扱いで実施されていたのでしょうか。

濱崎市民会館館長
　正直に言いますとマニュアル通りにやると配ることはできません。一番困ったのはこちらで配って良いよという物資が来なかったことです。これだけいっぱい自主避難されている方がいるのだけれども備蓄倉庫にあるものを配って良いのか。毛布も持ってこない方もいますので、そういう方には適宜こちらで判断をして提供しました。本部の判断を待っていても回答は返ってきませんし、各館がそれぞれ独自の判断で実施した状況です。

庄司委員
　校長会の総意ということで館長方にお願いしたいことがあります。９月９日から始まって根形小・中は５日間１３日まで停電で臨時休業しました。その間、毎日４時半に判断して６時に学校連絡メールを送っていましたら３日目くらいからメールが不安定になって送れなくなってきてメールが流れないという苦情もありました。電源車が来ることになって９月１６日に再開の目途が立ったので、職員に状況確認も含めて全家庭をまわって周知をしたのですが、そのときに思ったのが、デジタルのもろさというのをすごく感じました。やはりアナログの良さを残さないと、と思いました。そこで、さっそく根形公民館に行って学校からの連絡を大きく派手に貼り出してほしいとお願いしたら館長は快諾してくれました。その話を他の学校にしたら、うちもぜひお願いしたいということで、長期化したときは是非公民館で学校関係の連絡を一番目立つような場所に貼っていただきたいというのが、校長会の総意です。また根形公民館が今回引き受けていただきまして本当にありがとうございました。

田中委員
　今までの話を聞いて現場は大変だっただろうなと思います。私は災害対策コーディネーターのメンバーですけれども、いろいろ災害について皆で議論したのですけど、そこで避難所運営マニュアルですが、多くの先進都市ではそれぞれの避難所ごとに作っています。袖ケ浦市みたいに全市共通のマニュアルでやりましょうということではなくて、施設ごとに状況も違いますし、自分たちにあったマニュアルを作ってそれを改定していくと。それがあれば、今回の災害についてもここをこう直そうとか追加しようとかして、自分の施設にあったようなマニュアルに作っていくというような形が大事なのではないかとなりました。それと、今回自主避難所ということと、指定避難所という二つの機能を果たされたのですが、その区別がよくわからないのですが、マニュアルに自主避難所の場合

はこうしなさい、指定避難所の場合はこうしなさいとマニュアルで別れているのかどうか。多分ないと思うのですが。避難所をやるとしたら避難所運営本部を作らなければならないのですが、そこに公民館職員の方がメインで入るのではなく施設の管理人として入る。本来そこにはある程度防災に精通した方がトップに入られて、避難した方もそこに入って、避難所をうまく運営していくという形になっています。お話聞くと、そういうのが出来ていないゆえに施設を管理している公民館の方がすごく苦労されたのではないかと。これから袖ケ浦市としも施設に応じた運営マニュアルを作って、体制を作って、これからどうしていこうかということを考えていかなければいけない元年になるのではないかという気がしています。それに災害対策コーディネーターの方も協力いたしますので、一緒に作っていきたいなと思っております。よろしくお願いします。

片寄委員
　田中委員に私の言いたかったことを言っていただいたような気がしますが、図書館に行って、公民館における災害対策ハンドブックを借りてきました。ここに公民館独自の運営の仕方、何でも公民館職員がするのではなくて、自主組織を作ってその中で運営できるように、人が多くなればなるほどそのような活動の仕方がよろしいのではないかとこれを読んで勉強しました。本当に千葉県人は、災害に弱い県民だといわれるのですけど、市民会館・公民館というのは市民にとって一番身近な行政機関であって一番頼りにするところでありますので、ぜひこれからも地域の皆さんのためによろしくお願いしたいと思います。私自身何もできずに歯がゆい思いをしたのですけど、公民館の運営審議会委員も働けますのでぜひ使っていただきたいなと率直に思った気持ちです。実際にやれることがあれば何でもやりたいと思っています。

濱崎市民会館館長
　今回の災害のことでこれから振返って動いていかなければならないということが一つと、あと、マニュアル本はいろいろ出ているのですけれども、今回は風水害だったということで、震災と風水害では若干違うと思います。長期化する場合は自治組織を作って長期にわたって運営していく、台風で比較的期間が短いというところがありますので、区別をしながら考えていかなければなりません。あるマニュアルを見てそれをそのままというわけにはいかないと思いますので、そこは注意しながら考えていかなければなりません。

長崎副委員長
　避難者は、建物が安全かということと、仲間がいて精神的な安心ということを求めて公民館に避難してくると思うのですね。公民館を見ると、平岡公民館が雨漏りするなどどこの公民館でもかなり老朽化が起こっていると思うのですけど、

点検と改修工事ということで公民館の更なる強固を是非お願いしたいと思います。

多田平岡公民館副館長
　平岡公民館の場合、老朽化というよりも、排水口のつまりでした。職員が簡単に上がれる構造ならよかったのですが、上がるのに危険が伴います。その辺の問題もあり、詰まったままでオーバーフローしてしまったということです。構造的に簡単に上がれればまめに掃除もできて、水の流れもよくて、雨漏りすることもそんなになかったのかなと思います。改修というよりは日々の点検と感じております。

稲毛委員長
　時間の都合上、報告１はこれで終了したいと思いますが、よろしいですか。
　それでは、次に、報告２、令和２年袖ケ浦市成人式の取組み状況について、事務局より説明をお願いします。

事務局
（資料に基づき、濱崎市民会館館長が説明。）

稲毛委員長
　ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問や意見がございましたらお願いします。

長崎副委員長
　記念品のフォトフレームのキャラクターが、成人向けではなく子ども向けの幼稚なものに見えていて、このキャラクターはどうしても入れなければいけないものなのでしょうか。記念写真が１枚千円ですので、それをプレゼントという形は可能ですか。

濱崎市民会館館長
　前回のものが、このキャラクターとかぶって隠れてしまうため、今回それが無いようにしました。キャラクターを入れなければならないというわけではなく、担当の方で考えてこのような形になっていますので、袖ケ浦らしさということで決めております。写真については、撮られる方撮られない方、必要な方必要でない方といらっしゃると思います。そういったことも含めて何が良いだろうということを担当が集まって決めています。当然、記念品の候補として記念写真も入っていましたので、そういった中で今年はフォトフレームに落ち着きました。

稲毛委員長
　こういった意見もありますので、次回の際には考えて頂きたいと思いますので、よろしくお願いします。
　他に無いようですので、報告２につきましては終了します。
　次に、報告３、第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員の推薦について、事務局より説明をお願いします。

事務局
（資料に基づき、大野市民会館主幹が説明。）

稲毛委員長
　ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問や意見がございましたらお願いします。
　無いようですので、報告２につきましては終了します。
　続いて、その他に入ります。その他１、第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会について、事務局より説明をお願いします。

事務局
（資料に基づき、大野市民会館主幹が説明。）

稲毛委員長
　ただ今の件について、何かございますか。
　無いようですので、続いて、その他のその他ですが、事務局なにかありますか。

事務局
（濱崎市民会館館長が第７１回千葉県公民館研究大会中止の報告及び第６０回関東甲信越静公民館研究大会千葉県大会の日程について説明。大野市民会館主幹が、君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会合同研修会及び次回公民館運営審議会等の日程等について説明。）

稲毛委員長
　その他、ございますか。
　それでは、以上で予定された案件については、すべて終了しました。慎重審議、ありがとうございました。

午後４時５０分　閉会

令和元年度第４回袖ケ浦市公民館運営審議会

日時：令和元年１２月１３日（金）
午後２時３０分～午後５時
場所：市民会館　２階　研修室

次　第

１　開会のことば

２　委員長あいさつ

３　教育部長あいさつ

４　議題
（１）市民会館・公民館まつりの実施結果について
（２）袖ケ浦市民生委員推せん会委員の推薦について

５　報告
（１）市民会館・公民館における避難所対応について
（２）令和２年袖ケ浦市成人式の取組み状況について
（３）第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員の推薦について

６　その他
（１）第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会について
（２）その他

７　閉会のことば

第23期袖ケ浦市公民館運営審議会委員名簿

No.	氏名	選出区分	備考
1	しょうじ　みきお 庄司　三喜夫	学校教育 小中学校長会代表	１期目
2	しろた　まさふみ 代田　雅文	社会教育 文化協会代表	１期目
3	たなか　てるひろ 田中　輝博	社会教育 子ども会育成会連絡協議会代表	２期目
4	はやかわ　あつし 早川　敦	社会教育 音楽協会代表	２期目
5	いなげ　ひろお 稲毛　博夫	社会教育 体育協会代表	委員長 ７期目
6	さいとう　たかひこ 齋藤　隆彦	家庭教育	２期目
7	ながさき　ようこ 長崎　容子	学識経験者	副委員長 ４期目
8	おおの　としえ 大野　俊江	学識経験者	副委員長 ４期目
9	かたよせ　れいこ 片寄　礼子	学識経験者	２期目
10	やまだ　こ 山田　まち子	学識経験者	１期目
11	えんどう　のぶこ 遠藤　信子	学識経験者	１期目
12	すずき　としお 鈴木　利夫	公募委員	１期目

任期　平成３０年７月１日から令和２年６月３０日まで

議題（1）市民会館・公民館まつりの実施結果について

第３２回市民会館まつり実施報告書

開催日：令和元年11月2日（土）・3日（日）

会　場：市民会館

【展示の部】

No.	展　　　示　　　名		出品数等	備　　　考
1	主催事業紹介展		3点	市民会館 3点
2	子ども作品展	書道の部	122点	昭和小 56点　奈良輪小 32点 昭和中 6点　袖ヶ浦高 28点
		絵画の部 工作の部	382点	福王台保育所 115点 認定こども園まりん 60点 大空保育園 60点 昭和小学校 84点 奈良輪小学校 56点 昭和中学校 5点 こども館・ファミリーサポートセンター 2面
3	書道・絵画・短歌・俳句展		78点	袖書会 17点　翠書会 13点 彩友 15点 さわらび短歌会 15点 袖ケ浦俳壇 18点
4	貸衣裳展		70点	留袖、帯、色留袖、振袖、モーニング、訪問着、七五三、産着などの衣裳展示
5	フラワーデザイン展 生け花展		40点	フラワーデザインサークル 40点
			7点	茶華道連盟 7点
6	和紙ちぎり絵展		16点	和紙ちぎり絵友の会 16点
7	ブラジル展		10面	ブラジル物産品等展示。ブラジル関係の本類展示。ボサノバミニコンサートなど。
8	団体活動展示		54点	子どもる一ぷ袖ケ浦（パネル展示） 2面 袖ケ浦ﾐｭｰｼﾞｶﾙｱｶﾃﾞﾐｰ（パネル展示） 2面 椎の森里山の会（写真パネル、木工作品他） 50点
9	世界の選手を応援しようポスター展		47点	昭和小学校 47点
10	谷ノ台遺跡展示		42点	生涯学習課 42点
11	耐震化ＰＲコーナー		一式	模型による耐震についての説明
合　　計			872点	昨年度896点

【催し物の部】

No.	催し物名	参加者数等	備考			
1	おまつり広場	4,742人	綿あめ	539	かき氷	354
			餅	200	ラムネ	150
			焼きそば	1,127	焼いも	406
			フランクフルト他	450	マフィン	450
			縁日コーナー	336	野菜他	1,000
					※野菜は参加者数に含めず	
			レクリエーション協会ゲーム大会			310人
			フラダンス＆演奏(出演者数)			25人
			フォークダンス(出演者数)			13人
			神納神楽ばやし体験			50人
			バスの乗り方教室			332人
		2,250kg	古紙回収			2,210kg
			ペットボトルキャップ回収			40kg
2	出会いの広場他	1,073人	コーヒー・ジュース等			398人
			クッキー			80人
			チョコレート他			200人
			将棋対局			100人
			竹とんぼづくり			62人
			弥生人の暮らしをのぞいてみよう！			233人
3	大ホール	1,256人	音楽の広場			949人
			昭和小学校			82人
			奈良輪小学校			82人
			袖ケ浦ジュニアオーケストラ			61人
			認定こども園まりん			22人
			大空保育園			33人
			昭和中学校管弦楽部			27人
4	中ホール棟	415人	お茶会・茶道体験			100人
			万華鏡づくり			51人
			体力・頭の元気度チェック			29人
			どんぐり工作			167人
			太極拳体験			18人
			ダンスフェスティバル			50人
合計		7,486人	昨年度8,101人			

第32回市民会館まつり反省事項

	実行委員会議での意見等
共通事項	・地域の小学校の合唱があり、市民に対し文化にふれる機会の提供ということで大変良かった。又、このことが観客の動員にもつながっていた。 ・普段、市民会館を利用しているサークルの人達との交流や、活動等知ることが出き、良いと思います。 ・屋外が工事で狭く、少々動きにくかったのは残念でした。 ・中ホールに、わたあめ、りんごあめを持って入っている子ども達が居たので禁止の貼り紙でもした方が良いと思いました。
展示の部	・ホワイエの展示、出展等が整理され混雑がなくなっていた。（スッキリとして大ホール入退場の乱雑さがなかった） ・今年は親子連れの入場がありました。子供達にも、花に興味を持って欲しいと思いました。 ・ちぎり絵作品の見学者が昨年より少なかった様でした。
催し物の部（おまつり広場）	・フラダンスの発表の時にコーンをたてて、通路とステージを分けたことはよかったと思います。 ・今年は会場が狭かったので、フォークダンスを踊っている輪の中に歩いて来る子供がいて、ぶつかりそうになりました。 ・レク協会のコーナーは子どもの活気があり良かった。
催し物の部（講習会他）	・2Fへの人の流れが少ないので、喫茶コーナーをフリースペースにしたことはよかったと思います。折り鶴のコーナーもタイムリーでよかったです。 ・どんぐり工作は今年もたくさんの方に楽しんでいただけました。作品の部品の数を制限したので、作る時間が短くてすんだので、より多くの方に楽しんでいただけたと思います。 ・竹とんぼ教室来場者想定以上でありがたくお礼申し上げます。

総括（良かった点、改善すべき点など）
・パンフレットの「体験・体感してみよう」は、わかりやすくて良い。サークル独自の体験会等も網羅しているとなお良い。 ・授乳室の場所を聞かれた。パンフレットには書いてあるが、入口などにも案内があるとわかりやすいと思う。 ・工事の関係もあったと思うが、食事を取る時にもっと椅子があっても良いかも。（屋外） ・ホワイエ2Fに子ども作品があるが柵ののり出しは危ないと思った。トラロープでも…。 ・大ホールの催しの間があいているので、もったいない感じがする。

第33回平川公民館まつり　実施報告書

実施日：令和元年11月23・24日

【展示の部】

No.	会場		展示名	出品点数	備考	
1	1階	ロビー	東京2020オリンピック・パラリンピック展示	42	平川中学校	10
2					体育振興課・平川公民館	32
3			団体活動紹介	2	社会福祉協議会 ファミリーサポートセンター	2
4		多目的室	トールペイント	78	トールペイント平川	78
5			手工芸	111	プチ・クチュール	46
					彩花	19
					一般	46
6			短歌	18	さわらび短歌会	13
7			凧	5	伝統工芸保存会	5
8			書道	19	平川書道サークル	13
					一般	6
9			写真	35	一般	35
10			絵画	7	一般	7
11		体育室	体育祭の幟	3	平川中学校	3
12	2階	階段踊り場	中富ふれすぽクラブ	16	中富ふれすぽクラブ	16
13		ロビー	平川公民館主催事業紹介	5	掲示物5点	5
14			ミニ企画展「太平洋戦争中の平川地区　−学童集団疎開−」	25	平川公民館	25
15		視聴覚室	子ども作品展	354	吉野田保育所	79
					中川幼稚園	137
					中川小学校(絵画・書道・掲示物)	83
					中川小学校区放課後児童クラブ	46
					平川中学校	7
					こども館	1
					平川公民館主催事業紹介(幼児家庭教育学級)	1
16	3階	図書室	平川中学校おすすめ本	4	掲示物4点	4
合　計				678	昨年度822点	

【催し物の部】　令和元年12月12日現在(集計中)

No.	開催日	催し物名	参加者数	備考	
1	11/23.24	おまつり広場	2,829	ヨーヨーつり	187
				スーパーボールすくい	413
				焼きそば	440
				どんどん焼きそば	
				フランクフルト	350
				綿あめ	128
				焼き鳥	318
				チーズケーキ	51
				野菜・加工品(JA女性部)	85
				シルバー人材センター(即売品)	
				平川商店会	57
				商工会女性部(チョコバナナほか)	750
				豚汁	
				シャボン玉体験コーナー	50
2	11/23.24	喫茶コーナー		コーヒー	
				シフォンケーキ	
3	11/23	頭の元気度測定会	11	ひらかわ健康福祉支援室	
4	11/23	芸能・サークル発表会	150	6団体・6公演＋運営団体3	
5	11/23	おはなし会・わらべうた	53	読み聞かせなど	
6	11/23	子ども映画会	27	「14ひきのあきまつり」	
7	11/24	囲碁大会	14	平川囲碁同好会	
8	11/23	講習会「光るスライムづくり」	21	講師：千葉県立現代産業科学館	
9	11/23	講習会「ディンプルアート」	16	講師：髙橋　陽子	
10	11/24	講習会「DIY・リモコン立て」	18	講師：袖ケ浦市建設組合	
11	11/24	講習会「アイスクリームづくり」	30	講師：井上勝(社会教育推進員)	
12	11/24	バルーングリーティング	100	講師：パフォーマンタロウ	
13	11/24	フワフワガウラ(トランポリン)	250	ガウラネットワーク	
14	11/24	キックターゲット	120	袖ケ浦フットサルクラブ	
15	11/24	吹き矢体験	50	スポーツウェルネス吹き矢研究会	
16	11/24	友遊ボール体験会	50	袖ケ浦ミラクル	
17	11/24	かみのおはなやさん	53	花飾りボランティア　神田　昌彦	
18	11/24	もちつき大会	131	協力：中富ふれすぽクラブ	
19	11/24	フィナーレ・もち投げ	130	協力：青少年相談員中富支部	
合　計			4,053	昨年度7,483名	

第３３回平川公民館まつりアンケート結果

令和元年１１月２４日（日）（第２日目）実施
回答数：１３１

Ｑ１. 年齢についてお伺いします。
・小学校入学前：１２　・小学生：３２　・中学生：０　・高校生～20歳未満：０
・２０歳代：５　・３０歳代：２１　・４０歳代：１１　・５０歳代：１１
・６０歳代：１８　・７０歳代以上：２１　・無回答：０

Ｑ２. お住まいはどちらですか？
・中川富岡地区：５６　・平岡地区：１８　・根形地区：９　・長浦地区：９
・昭和地区：１６　・木更津市：１４　・君津市：５　・市原市：２
・富津市：０　・その他：２（銚子市（小学生）：１、無回答：１）　・無回答：０

Ｑ３. 平川公民館まつりを何で知りましたか？（複数回答）
・学校でもらったチラシ：４４　・友だちや家族：４５　・広報「そでがうら」：２６
・回覧板：６　・ホームページ：３　・たまたま通りかかった：４　・無回答：０
・その他：１０
　・袖ケ浦フットサルクラブで（４０歳代・市原市）
　・サークルで（６０歳代・木更津市）
　・もともと（小学生・中富地区）
　・例年どおりのかいさいを知ってた（３０歳代・中富地区）
　・ぐるっと千葉（７０歳代以上・君津市）
　・いつもきている（７０歳代・平岡地区）
　・無回答：４

Ｑ４. 今年の平川公民館まつりで印象に残っていること（楽しかったり感動したり感心したりびっくりしたこと）は何ですか？（複数回答、無回答あり）
・やきそば・綿あめなどのもぎ店：６６　・そくばい会（野菜ほか）：１２
・シフォンケーキ：１２　・１階ロビー展示（オリパラ特集）：１１
・２階ロビー展示（集団疎開）：１８　・ＤＩＹ講習会（会議室）：７
・アイスクリームづくり（会議室）：３　・各サークルの作品展示：９
・子ども作品展（視聴覚室）：３５　・かみのおはなやさん（３階図書館）：５
・吹き矢体験（体育室）：１１　・キックターゲット（体育室）：１２
・友遊ボール体験会（体育室）：６　・囲碁大会（和室）：１
・その他：６
　・フワフワガウラ×３（入学前・根形地区、３０歳代・木更津市、２０歳代・市原市）
　・わなげ（７０歳代以上・木更津市）
　・雨×２（３０歳代・中富地区、７０歳代以上・木更津市）

Ｑ５. 中富ふれすぽクラブの活動を知っていますか？知っている方は参加の有無を教えてください。
・知らない：５８
・知っている：７０（参加したことがある：２０、参加したことはない：４１　、
無回答：９）
・無回答：３

Ｑ６. 中富ふれすぽクラブでやってみたいスポーツ、またはあれば参加したいと思う種目はありますか？（複数回答、無回答あり）

・卓球：１７
・ヨガ（リラックスデー）：１５
・ソフトバレー・バレーボール：８
・ミニバスケットボール：１４
・グラウンドゴルフ：６
・バドミントン：１５
・書道：１４
・英会話：２
・その他：３
　・テニス（小学生・中富地区）
　・オセロ（入学前・木更津市）
　・踊り（６０歳代・長浦地区）
・インデイアカ：６
・空手：５
・ウォーキング：９
・ユニバーサルホッケー：４
・ソフトボール：３
・フットサル：１０
・将棋：４
・プログラミング：６
・パドルテニス：５
・キッズダンス：４
・スナッグゴルフ：０
・囲碁：１

Ｑ７. 今後、平川公民館まつりで取り上げてほしいこと、参加したいと思う講習会をお書きください。

・くじ引きやバスケ体験があるといい。（小学生・中富地区）
・おりがみ教室（小学生・銚子市）
・子供が楽しめる事がめいっぱいあるといいです。（３０歳代・木更津市）
・折り紙の作品作り（入学前・昭和地区）
・アクアラインの歴史（４０歳代・市原市）
・吹き矢のサークルを午前に出来たら入りたいです。（７０歳代・中富地区）
・料理の講習会（４０歳代・平岡地区）
・キャラクターとかの折り紙（４０歳代・中富地区）
・キックターゲットやふきや（小学生・平岡地区）
・キックターゲットをとり上げてほしい。（小学生・中富地区）
・くじとか子どもが楽しめる物を取り上げてほしいです。（小学生・平岡地区）
・クイズ大会。ボランティアの人がもんだいをかいて、答えはこういうかみにかく。（小学生・中富地区）
・クイズ大会、ボールなげ、バスケ、なわとび（小学生・中富地区）
・ミニＳＬ（２０歳代・中富地区）
・ＤＩＹ講習会（小学生・中富地区）×２
・コーラス（７０歳代・平岡地区）
・きかん車てんじ（小学生・中富地区）
・陶芸（７０歳代以上・中富地区）
・誰かの講話などあれば聞きたい。（５０歳代・中富地区）
・演芸もふやしてほしい。（７０歳代以上・木更津市）
・アイスクリームづくり（６０歳代・中富地区）
・フットサルゲーム（４０歳代・昭和地区）
・サバイバル（キャンプ）品体験（６０歳代・平岡地区）

第34回長浦公民館まつり実施報告書

【展示の部】

場所		展示内容	
1　階	交流ロビー	絵画サークル「心美」	11点
		団体紹介展　（ファミリーサポートセンター／子ども館、市民課）	3点
	多目的室	絵画サークル悠彩・悠彩2・悠彩3	32点
		木遊会	81点
		木彫り「どんぐり」の会	26点
		和紙ちぎり絵展	12点
		押花額絵サークル	54点
2　階	展示ホール	書道展	31点
		硬筆習字展	18点
	研修室1・2	子ども作品展※	518点
		幼稚園・保育園　292点 小学校　151点 中学校　63点 槇の実特別支援学校　12点	
		パッチワーク展	75点
	会議室2	川柳展	22点
		俳句展	18点
		短歌展	15点
		フラワーアレンジメント展示	6点
		社会福祉協議会	4点
	廊　下	公民館主催事業紹介コーナー	6点
		合計	932点

※子ども作品展は出展者の総数

H30実績　1,076点

H29実績　1,011点

【催し物の部】

場　所		催 し 物 名	参加者数等	備　考
屋外	前庭広場 （おまつり広場）	模擬店 喫茶コーナー	3,368人	[11月23日のみ] 袖子連長浦支部（やきそば、ヨーヨーつり） ナガックス（ポップコーン） [11月24日のみ] ガールスカウト87団（フランクフルト、ゆで卵、日用品バザー） 青少年相談員長浦支部（揚げパン） [両日] 社会教育推進員（マドレーヌ、マフィン、コーヒー他） リアン(スイートポテト、クッキー他） ゆりの里(寿司類、豚汁、カレー他） ※12月10日現在収支報告書未提出の団体あり
		野菜即売会	100人	
		オープニングゲスト鼓凛		雨天中止
1階	多目的ホール	サークル発表会	292人	
		蔵波中演奏会	100人	
		長浦中演奏会	150人	
		ﾊﾟﾌｫｰﾏｰhideによる大道芸	105人	
		チビッコ広場	145人	
		ダンスパーティー	57人	
	ロビー	いたずらっ子工作	52人	
		和紙ちぎり絵体験	20人	
		ハーバリウムづくり	23人	
		割りばし鉄砲	90人	
		エコクラフト講習会	19人	
2階	会議室2	俳句・川柳・短歌		展示の部
	和室	親子休憩室		
	視聴覚室	大人の折り紙教室	17人	
		子どもの折り紙教室	27人	
	会議室1	頭の元気度測定会	24人	
おかのうえ図書館	3階視聴覚室	ミニコンサート	233人	三曲睦会、おこと楽坊、長浦ジュニアお琴・尺八教室「ひまわり」、長浦マンドリンアンサンブル、コールわかば・袖ケ浦混声合唱団、蔵波台ギターアンサンブル
合　計			**4,822人**	23・24日とも雨天

H30実績　8,500人

H29実績　7,869人

第34回長浦公民館まつり反省事項

展示部門	・テーブル、白布も用意してあってスムーズに展示できた。昨年に比べてお客さんの数は少なかったがしっかりと見てもらえてよかったと思う。 ・展示部門のサークルは名札を付けることになっていたが、打ち合わせの際に必要枚数などをサークルと事務局とで確認し合うのがいいと思う。
発表部門	・カラオケ発表の人は音響の人がマイクの手配をしてくれるが、それ以外の発表の人が使うマイクは公民館のマイクで、音量の調節が良く解らなかった。 →前日リハで調整することとしたい。
模擬店部門	・役員が毎年変わるので物品のある場所が良く解らない。また、本当に用意してもらえるか不安である。 →物品は事前に確認できるように出しておきたい
当日の運営	・公民館まつりの2日間とも雨で、駐車場にしていた運動広場が雨でぐちゃぐちゃになった。今後、雨の場合は運動広場が使えないので駐車場待ちの時間ができるようになる可能性がある。できるだけ乗り合わせでお願いしたい。（事務局）
その他	・収支報告書の締め切りが早すぎる。 ・アンケートの提出について、会議資料にはついていたが実行委員会のときに説明がなかった。サークルに配ってもよいのではないか。また、他館の方法などを取り入れて回収率をあげてはどうか。アンケート用紙に一言記入できる欄があると良い。 ・パンフレットの字が小さい。

第３３回　根形公民館まつり実施報告書

実施日：令和元年１１月２日（土）、３日（日）

【展示の部】

No.	会場		展示名	出品点数	内容（団体名等）			
1	1階	ロビー	子ども作品展	161点	花まる絵画教室			20
					根形保育所	105	根形小学校（絵画）	36
2			生け花展	2点	生け花サークル優華会（ロビー展示大作）			2
3			篠笛等展示	22点	篠笛の会			22
4			ファミリーサポートセンター紹介	2点	ファミリーサポートセンター			2
5	2階	通路	子ども作品展	108点	根形小学校（書道・硬筆）	36	根形中学校（絵画、俳句）	72
6			上総掘りをつたえる会紹介	12点	上総掘りをつたえる会			12
7			表装作品展	15点	表装サークル			15
8		視聴覚室	陶芸作品展	289点	陶芸サークル陶	23	陶芸サークル窯	25
					陶芸サークル彩の会	15	陶芸サークル土楽	37
					陶芸サークル釉	24	陶芸サークル形	36
					陶芸サークル亜々土	13	陶芸サークル楽遊	18
					陶芸サークル椿	21	陶芸サークル陶楽	32
					陶芸サークル土喜	24	陶芸サークル陶和	21
9			写真展	14点	写団上総			14
10			生け花展	6点	生け花サークル優華会			6
11			書道作品展	29点	根形書友会（13） 望陀書友会（16）			29
12		会議室	子ども絵画教室作品展	37点	子ども絵画教室 個人（34）・共同制作（3）			37
13		講義研修室	成人絵画作品展	61点	成人絵画教室	12	快心	10
					サークル悠	8	イーゼル	12
					サークル遊心	9	パレット	10
合計				758点	昨年度　804　点			46点減

第３３回　根形公民館まつり実施報告書

実施日：令和元年１１月２日（土）、３日（日）

【催し物の部】

No.	催 し 物 名	参加者数等	備 考			
1	おまつり広場	6,077人	綿菓子	266	ちらし寿司	16
			餅	489	水ヨーヨー	438
			甘酒　他	600	焼きそば　他	920
			フライドポテト他	1,037	水あめ	219
			豚汁	201	農産物販売　他	275
			フランクフルト	645	陶芸販売	648
			ドーム菊　他	69	のびろパン	254
2	出会いの広場	711人	コーヒー、ジュース等			331人
			パン（ケーキ、米粉パン等）			380人
3	家族でトライ	150人	参加者数			150人
4	芸能音楽発表会	415人	参加者及び出演者数			415人
5	油絵体験会	11人	講師：伊藤　景子（成人絵画教室講師）			11人
6	親子陶芸教室	28人	講師：陶芸サークル形			28人
7	親子マジック教室	11人	講師：ナポリタンズ			11人
8	講習会「和菓子作り」	12人	講師：袖の花			12人
9	講習会「パン作り」	22人	講師：袖の花			22人
10	講習会「凧づくり」	64人	講師：袖ケ浦市凧保存会			64人
11	講習会「ヨガ体験会」	5人	講師：ヨガサークルほっこり			5人
12	篠笛体験	50人	講師：篠笛の会			50人
13	頭の元気度測定会	6人	講師：高齢者支援課			6人
14	ボーイスカウト体験	140人	ボーイスカウト			140人
15	お茶会	120人	袖ケ浦市茶華道連盟（村松社中）			120人
16	陶芸デモンストレーション	50人	陶芸サークル協議会			50人
17	テニス講習	70人	ＮＥＳＵＰＯ			70人
18	図書室	121人	かみのおはなやさん			78人
			すきすき絵本タイム			43人
合　計		8,063人	昨年度8,503人			440人減

第33回根形公民館まつり反省事項

	実行委員会議での意見等
共通事項	・昨年度の反省を踏まえ、適宜、館内放送で事業の周知を行った。ただし、ハザードランプが点滅したままの車が駐車していたので、その旨を周知しようと、館内放送でアナウンスを実施したが、芸能音楽発表会の発表の最中であったため、関係者に迷惑をかけた。（アナウンス自体は、すぐに中止した。）アナウンス場所にプログラムを置くなど、アナウンスするタイミングをスタッフで共有する必要がある。
展示の部	・昨年度決めた方針を引継ぎ、今年度も視聴覚室を土足厳禁とした。ただし、会場のパネル設置の準備作業の際は、安全確保のため、くつを拭く等を条件に土足可とした。 ・展示会場の確認不足により、一部レイアウトの変更が生じてしまった。 ・根形小学校の書道作品が公民館まつり以外でも展示されたかの問い合わせがあり、作品を確認したが、他で展示されたかわからなかった。次年度は、学校に確認する必要がある。
催し物の部（おまつり広場）	・昨年度依頼のあった調理実習室の利用希望について、事前に確認し、調整した。 ・初日のオープニングについて、根形保育所の年長組が発表を行った。保護者をはじめ、地域の方々が笑顔で見ている姿がとても印象的であった。 ・２日目のオープニングについて、雨が降る恐れがあったため、鼓楽（和太鼓団体）の発表場所が前庭広場から玄関ポーチに変更となった。玄関ポーチのライトをつけたが、全体的に暗い感じであった。また、玄関ポーチでの発表となったため、館内への通行に支障をきたすとともに、発表の妨げになってしまった。 ・昨年度、陶芸即売が13時頃に終了し、担当サークルが閉会前にテントを片付けていたが、今年度は、陶芸バザーの販売数を昨年度よりも増やしたことで、閉会前に片付けが行われなかった。
催し物の部（講習会　他）	・参加者は定員に達しなかったが、和菓子作りとお茶会がコラボレーションし、参加者自身が作った和菓子でお茶会の席に参加できたことは、参加者にとってとても有意義であった。 ・ヨガ体験会は、５人に対し80分行ったが、前半と後半に分けても良かった。 ・２日目の催しをより充実させて欲しい。

総括（良かった点、改善すべき点など）
一部駐車待ちがあったが、今年度も内野を開放したことで、駐車に関しての問題は特段無かった。 初日は、根形保育所や地域の子どもたちの発表等があり、かつ、天気も良かったことで、昨年度よりも来場者は多かったように思う。一方、２日目は、上記でも記載があるが、初日に比べると来場者が少なく、催し等の見直しが必要と感じた。次年度は、２日目の企画を実行委員の声を聴きながら検討したい。

第14回平岡公民館文化・スポーツまつり 実施報告書

実施日：令和元年11月2・3日

【展示の部】

No.	会場		展示名	出品点数	備考	
1	1階	ロビー	平岡公民館主催事業等紹介	8	掲示物	
2			団体サークル紹介コーナー	16	掲示物	
3			いきいきサポート	4	掲示物	
4			生け花展	2	花倶楽部	
5	2階	ロビー	主催講座作品展	27	わくわく女性倶楽部（正月飾り）	8
					わくわく女性倶楽部（ディンプルアート）	15
					すまいる学級（アルバムカフェ）	4
6			凧展	7	伝統工芸保存会	7
7			俳句	2	一般	
8			手工芸	10	一般	
9		会議室	手工芸	110	リメイク工房	55
					古里の仲間たち	55
			写真	14	一般	
			書道	5		
			油絵	3		
			焦がし絵	1		
			色鉛筆画	2		
			折り紙作品	4		
10		研修室	子ども作品展	275	平川保育所	71
					平岡小学校（絵画・工作）	88
					平岡小学校(書写)	48
					平岡小学校幽谷分校（絵画・工作）	12
					平岡小学校幽谷分校(書写)	12
					平岡放課後児童クラブ	44
合計				490	（昨年度490点）	

【催し物の部】

No.	開催日	催し物名	参加者数	備　　考	
1	11/2,3	おまつり広場	4,140	焼きそば(11/2、鶴岡商店)	800
				焼きそば(11/3、泉会)	374
				ｽｰﾊﾟｰﾎﾞｰﾙすくい(ニーハオクラブ、グラウンドゴルフ木曜会、アール、ヨガサークル)	236
				わたあめ(下泉インディアカ、岩井インディアカ、もみの木台インディアカ、滝ヶ沢インディアカ)	227
				フランクフルト(青少年相談員平岡支部)	740
				野菜、農作物加工品(11/2、JA君津袖ケ浦女性部)	58
				豚汁(11/2、花ぐるめ)	130
				ジュース・抽選会(11/2、平川商店会)	56
				焼き芋・野菜・アクセサリー(11/3、柊の郷)	218
				焼き鳥・あてくじ(11/3、ひらおか元気ネットワーク)	429
				かき揚げそば・うどん(11/3、社会福祉協議会平岡支部)	147
				のびろパン(11/3、ひかりの学園)	80
				おにぎり、サンドイッチ他(11/2、野里菓子屋)	100
				ふわふわガウラ(ガウラネットワーク)	545
2		コーヒーコーナー	1,845	コーヒー・紅茶(社会教育推進員)	195
				ポップコーン(社会教育推進員)	350
				駄菓子・おもちゃ(社会教育推進員)	1,300
3		登録サークル作品販売	108	リメイク工房	108
4	11/2	オープニングセレモニー、平岡小学校オンステージ	200	平川保育所、平岡小学校、平岡小学校幽谷分校	
5		お昼の演奏会	180	平川中学校吹奏楽部	
6		芸能・サークル発表会	160	カナリアンズ、さくらんぼ、平岡ハーモニカクラブ、さわやか会、ひらおかモチーフ、袖ケ浦鼓蝶会、ダンスサークルジョイ	
7		ミニステージ	60	カナリアンズ、石橋 健彦、在原 徹	
8		おもしろ科学実験ショー	20	講師:井上　勝	
9		おもちゃ病院	5	おもちゃ病院袖ケ浦	
10		講習会「粘土で作る松ぼっくりペンギン」	9	講師:古里　よし子	
11		講習会「鳥笛で遊ぼう」	10	講師:石井　徳勇(社会教育推進員)	
12		人形劇「ポンちゃんのかくれんぼ」	35	人形劇団とんとん	
13		読み聞かせ	49	すきすき絵本タイムボランティア	
14	11/3	ミニステージ	100	勝呂 文恵、菊田 洋康、桂舟会、在原 徹	
15		講習会「アイスクリームをつくろう」	30	講師:井上　勝	
16		講習会「バルーンアートづくり体験」	50	講師:関 勇	
17		房総子どもかるた大会	100	袖子連平岡支部	
18		かみのおはなやさん	69	花飾りボランティア　神田　昌彦	
19		頭の元気度測定会	9	ひらかわ健康福祉支援室	
20		折り紙教室	30	折り紙ボランティア	
合　計			7,209		

【スポーツの部】

No.	開催日	催し物名	参加者数	備　　考
1	11/2	グラウンドゴルフ	100	
2		友遊ボール体験	40	
3	11/3	綱引き	200	
4		ユニバーサルホッケー	100	
5	11/2.3	ニュースポーツ3種目	200	
合　計			640	

催し物の部・スポーツの部　総合計	7,849	(昨年度7,640名)

第14回平岡公民館文化・スポーツまつり反省事項

	実行委員会議での意見等
共通事項	・オープニングセレモニーで団体の発表時間が当初依頼した時間より短かった。密な調整が必要である。 ・子どもたちの発表の時、ロビーの音が気になった。 音が出るイベント同士の開催時間の調整には十分な時間と他への影響を配慮すべき。
展示の部	・サークル紹介は、在籍していない会員の写真であったり、活動日時の誤りがあった。 ・展示と販売の共存する会場では、落ち着いて鑑賞できない。 ・2階ロビーの展示は、他の展示場の動線をふさいでしまい、会場の案内表示が見えにくくなってしまう。
催し物の部（おまつり広場）	・食品販売は、毎年販売数量に悩む。そのため安全を見込んで少なくするが、今回は早めに売り切れてしまった。 ・綿あめを担当したが、上手くできずにスムーズに売ることができなかった。事前に練習をさせてもらったが、もう少し練習した方がよかった。
催し物の部（講習会他）	・「粘土で作る松ぼっくりペンギン」の参加者が9名だったが、もう少し参加してもらえたら良かった。 ・「イベントタイムテーブル」は、いつ、どこで、何を実施しているか一目でわかる。館内目のつくところに掲示してもよかったのではないか。また、イベントの開催に合わせ放送で呼びかけてもよいのではないか。
スポーツの部	・綱引きは、3か所の自治会から人が集まらないと言われた。市長選挙の告示日と重なったこともあり難しかったと思うが、今後検討したい。 ・花火の打ち上げは必要ないのではないか。

総括（良かった点、改善すべき点など）
子どもから大人まで大勢の皆さんに楽しんでもらえるよう、内容を少しずつ変えながら取り組んできた。ふわふわガウラの出展や、人形劇など子どもに大変好評であった。例年、午後になると少なくなる参加者も今年は終わりまで大勢いた。 また、昨年から始めたミニステージは、発表者が増えてまつりの雰囲気を盛り上げるイベントになりつつある。 頂いた意見を大切に大勢の子どもから大人まで楽しく参加できる公民館まつりにしていきたい。

● 市民会館

袖ケ浦市ジュニアオーケストラ演奏

どんぐり工作

ブラジル音楽ミニコンサート

世界の選手を応援しようポスター展

● 平川公民館

野菜販売

バルーングリーティング

餅投げ

DIY講習会

● 長浦公民館

サークル発表会

ちびっこ広場

● 根形公民館

親子陶芸教室

根形保育所

根形小学校

かみのおはなやさん

● 平岡公民館

芸能・サークル発表会

綱引き

議題（２）袖ケ浦市民生委員推せん会委員の推薦について

鈴木委員の任期が１１月３０日をもって満了となったことから、次期委員１名の推薦を行うものです。

・任　期　令和元年１２月１日から令和４年１１月３０日まで

袖ケ浦市民生委員推せん会委員（１名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

○民生委員法（抄） 第八条　民生委員推薦会は、委員若干人でこれを組織する。 ２　委員は、当該市町村の区域の実情に通ずる者のうちから、市町村長が委嘱する。 ３　民生委員推薦会に委員長一人を置く。委員長は、委員の互選とする。 ４　前三項に定めるもののほか、委員長及び委員の任期並びに委員長の職務その他民生委員推薦会に関し必要な事項は、政令でこれを定める。
○民生委員法施行令（抄） 第一条　民生委員推薦会の委員長の任期は、民生委員推薦会においてこれを定める。 ２　民生委員推薦会の委員の任期は、三年とする。但し、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。 ３　委員が左の各号の一に該当する場合においては、任期中であつても、市町村長（特別区の区長を含む。以下同じ。）は、これを解嘱することができる。 一　職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合 二　委員たるにふさわしくない非行のあつた場合 ４　委員がその職務上の地位を政党又は政治的目的のために利用した場合は、前項の規定に従い解嘱せられるものとする。 第七条　前各条で定めるものの外、民生委員推薦会の委員の定数その他民生委員推薦会に関し必要な事項は、市町村長がこれを定める。
○袖ケ浦市民生委員推せん会規則（抄） （定数及び組織） 第２条　推せん会は、委員14人以内で組織する。 ２　委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。 ⑴　民生委員 ⑵　主任児童委員 ⑶　社会福祉事業の実施に関係のある者 ⑷　市の区域を単位とする社会福祉関係団体の代表者 ⑸　教育に関係のある者 ⑹　関係行政機関の職員 ⑺　学識経験のある者 ⑻　前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

報告（1）市民会館・公民館における避難所対応について

1　避難所等の開設状況

（1）台風１５号

日時	避難所・自主避難所の開設・閉鎖
９月　８日　　１７時	自主避難所開設（全館）
９日　　２０時	避難所開設（市会、平川）、自主避難所継続（他３館）
１９日　　１８時	避難所継続（平川）、避難所・自主避難所閉鎖（他４館）
１０月　８日　　　９時	避難所閉鎖（平川）

（2）台風１９号

日時	避難所・自主避難所の開設・閉鎖
１０月１１日　　　９時	自主避難所開設（全館）
１２日　　１０時	避難所開設（全館）
１４日　　２１時	避難所閉鎖（全館）

2　市民会館・公民館での支援等

情報コーナーの設置、携帯電話・スマートフォンの充電無料開放、休憩室開放（熱中症対策）、非常食・飲料水の配布、ブルーシート・土のう袋の配布　など

物資の配布

生活安全メール等情報コーナー

3　公民館の貸出し等

避難所・自主避難所開設中であっても、避難者がいる平川公民館を除いた４館では条件付き貸出しを行い、非日常から日常への早期回復に努めた。

条件

・避難者用の部屋を確保する。

・確保している部屋の収容人数を超える避難者があった場合は、使用を中止する。

・夜間の使用は原則禁止

・その他、災害対応により、直ちに使用を中止することがある。

台風１５号及び１９号、大雨における市民会館、公民館に関するアンケート結果

配付数：１２　　回収数：　８　　回収率：６６．７％（１１月２９日現在）

問１　災害時の皆さんの避難の状況であてはまるもの一つを選んでください。

１　避難所に避難した。（0）

２　避難所には避難していないが、充電やブルーシート等の物資の支給を受けに避難所に行った。（2）

３　避難所には行っていない。（6）

問２　今回の災害で市民会館、公民館は、通常業務を一時停止して、避難所としての役割を果たしました。今回の災害に関する市民会館、公民館について意見等を伺います。

・大変よい事だと思います。市民も安心できる。職員の皆さんもお疲れ様でした。市民生活の中で気軽に集うことができる場であってほしい（拠り所）。災害時に避難場所としてだけでなく、災害に対する日頃の備えなど、災害に関した事がらなど、公民館を活用した地域での防災教育の発信拠点としても、担ってほしい。

・職員ご自身が、被災されたなかで、長期にわたり避難所を、開設、運営してくださったこと、感謝いたします。一番身近な行政機関として、十分役割を果たしてくださいました。避難所の運営は「避難所対応マニュアル」等により対応されたと思いますが、もし改善点等があれば、次回（無いことを望みますが…）に活かしていただきたい。通常の公民館利用者からは、通常の公民館に戻って欲しいとの気持ちはありました。私事ですが、台風１５号で停電４日間を経験しました。それ以外は、被害はありませんでした。その後、公民館の避難所開設を知り、ボランティアにと思いましたが、結局何も行動できませんでした。次回、機会があれば、行動したいと思っています。申し訳ありませんでした。

・各人日々都合がありますが、この際は、災害に対しての一番に、通常業務は一時停止し、この役割を果たしていいと思います。公の場の役割は、これでいいし、大切な仕事だと思います。良く対処して下さったと思います。予期せぬ事なので大変だったと思います。ありがとうございました。

・公民館等の職員の皆様おつかれ様でした。避難所となった大変さは、はかりしれません。私も２度平岡公民館で炊き出しに参加させていただきました。公民館のライフラインを守って避難所として安全である場所を築いていかなければと思いました。

・長浦公民館は１５号の時、停電と断水の為、機能を果たさなかった。我が家も停電したが、ガス、水道は大丈夫だったので避難せず自宅でしのいだ。１９号の時、テレビ等で「早期避難、命を守る行動を」との強い口調での呼びかけに恐怖心をあおられ避難を考えたが長浦公民館は満杯で、蔵小、蔵中は無く臨スポを考えたが家族との話し合いで自宅待機した。高齢化が進む中、自主避難の見極めが大切で、明るい内に行政がバスなどで強制的に避難誘導してほしい（近所同士声かけあって１ヶ所に集まり）自分で電話してから行くのでは無く連れて行って欲しい。防災意識を高める為、公民館事業で勉強、話し合いが大切。ハザードマップのその地域住民による知識、作成が大切。高齢者への思いやりの対策が必要。

・乳児のミルク等の対応。寒い時の毛布、タオルが必要ではないか。

・市民会館をはじめ各公民館の皆様、大変お疲れさまでした。経験したことのない、台風や大雨の被害でしたので、どれ程の人数が来るかわからない状況での、避難所の運営、ありがとうございました。お疲れ様でした。これだけの被害ですと、やはり公民館の役割が大変重要であり、通常業務の一時停止はやむを得ないと思います。ただ、避難所開設により通常業務の停止連絡、再開連絡が、利用者より問い合わせないとわからないとの声もありました。難しいかとは思いますが、一定のルール（避難所の開設、閉設時の連絡体制）が必要でないかと思います。

・今回の台風では、住民の防災意識も高まり、日頃の備えの大切さを痛感しました。温暖化の影響で台風の勢力が強くなっているため、今後も強風、大雨による災害が予想されます。長時間の停電となると、住民は情報の入手が、行政側は災害等の状況の把握と住民への周知が困難になります。そのため、電気や水道のインフラの防災対策や住民の生命を守るための避難計画の策定が急務です。避難行動は最終的には個々の状況に応じた住民の判断となりますが、最寄りの公民館は避難所としての役割が重要です。また、行政側と住民（自治会、町内会等）との連携も求められます。

報告（２）令和２年袖ケ浦市成人式の取組み状況について

令和２年袖ケ浦市成人式開催要項

１．趣　旨　　成人となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます国民の祝日にあたり、本市の新成人がより豊かな人生を築くための記念行事とする。

２．目　標　　生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ。

３．日　時　　令和２年１月１２日（日）
午前１０時３０分から（昭和・長浦・根形・平川地区）
午後　１時３０分から（蔵波地区）

４．主　催　　袖ケ浦市・袖ケ浦市教育委員会
袖ケ浦市成人式各地区実行委員会

５．対　象　　（１）平成１１年４月２日から平成１２年４月１日までの間に生まれ、市内に住民登録されている者。
（２）平成１１年４月２日から平成１２年４月１日までの間に生まれ、袖ケ浦市内小学校または中学校を卒業し、他市町村に住民登録を移している者で出席を希望する者。

６．会場及び対象者数

昭和地区	市 民 会 館／計２３１名	男	１１７名	女	１１４名
長浦地区	長浦公民館／計１０２名	男	５７名	女	４５名
蔵波地区	長浦公民館／計１４３名	男	８１名	女	６２名
根形地区	根形公民館／計　４２名	男	２３名	女	１９名
平川地区	平岡公民館／計１０４名	男	５３名	女	５１名
（R　１．１０．１５現在）	合計６２２名	男	３３１名	女	２９１名

７．記念式典　（１）開式のことば
（２）国歌斉唱　　（指揮者、ピアノ伴奏者）
（３）主催者挨拶　（市長、副市長、教育長、企画財政部長）
（４）来賓祝辞　　（県議会議員、市議会代表）
（来賓紹介、祝電披露）
（５）新成人者代表挨拶（新成人者代表）
（６）閉式のことば

８．記念行事　昭和地区：記念写真撮影、恩師を囲んでの立食パーティー
　　　　　　　長浦地区：記念写真撮影、恩師からのお祝いの言葉
　　　　　　　蔵波地区：記念写真撮影、恩師からのお祝いの言葉
　　　　　　　根形地区：記念写真撮影、恩師を囲んでの立食パーティー
　　　　　　　　　　　（後日、中学校への記念品贈呈）
　　　　　　　平川地区：記念写真撮影、ビデオレター、新成人の主張

９．記念品　　ガウライラスト入りフォトフレーム

報告（３）第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員の推薦について

　令和元年１０月１５日付け袖教生第２２７４号にて袖ケ浦市社会教育委員委員長より、別紙のとおり実行委員の推薦について依頼がありました。
　推薦書提出の締め切りが１１月１日で審議会の開催前であったため、委員長と相談のうえ片寄礼子委員を推薦しましたことを報告します。

袖ケ浦市
市民会館
-1.10.16
受付第948号

袖教生第２２７４号
令和元年１０月１５日

袖ケ浦市公民館運営審議会
委員長　稲毛　博夫　様

袖ケ浦市社会教育委員
委員長　二宮　義文

第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員の選出について（依頼）

清秋の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本市生涯学習の推進につきまして、格別なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和２年２月１５日（土）に開催予定の「第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会」が昨年に引き続き、実行委員制で運営されることとなりました。

つきましては下記のとおり、実行委員をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

記

１．依頼内容

貴団体より実行委員　**1名**　を選出し、別紙推薦書の提出をお願いします。
ご推薦いただいた実行委員様に、別紙の実行委員会開催通知をお渡しください。

２．推薦書提出締切　**令和元年11月1日(金)**

３．今後の実行委員スケジュール

第１回実行委員会議	令和元年１１月　８日（金）18：30～	【袖ケ浦市役所旧館３F大会議室】
第２回実行委員会議	令和２年　１月３１日（金）18：30～	【袖ケ浦市役所旧館３F大会議室】
生涯学習推進大会当日	令和２年　２月１５日（土）10：30～	【袖ケ浦市民会館】

４．添付文書

①「生涯学習推進大会実行委員推薦書」
②「第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員会議の開催について（通知）」
③「第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会要項」

【提出先・連絡先】教育委員会生涯学習課
担当：小川　TEL６２－３７４３（直通）

その他（１）第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会の参加について

令和元年１１月２２日付け袖教生第２５７９号で袖ケ浦市社会教育委員委員長より、袖ケ浦市公民館運営審議会委員長あてに、第３５回袖ケ浦市生涯学習推進大会への参加の依頼がありました。

出欠及びバス乗車場所の報告期限：令和２年１月２２日（水）
報告先：市民会館（電話６２－３１３５）

バスの運行について

行き		帰り	
平川公民館発	１１：１０	市民会館発	１６：１５
平岡公民館発	１１：２５	長浦公民館着	１６：３５
根形公民館発	１１：４５	根形公民館着	１６：５５
長浦公民館発	１２：０５	平岡公民館着	１７：１５
市民会館着	１２：２５	平川公民館着	１７：３０

袖ケ浦市
市民会館
-1.11.25
受付第1152号

袖 教 生 第２５７９号
令和元年１１月２２日

袖ケ浦市公民館運営審議会
委員長　稲毛　博夫　様

袖ケ浦市社会教育委員
委員長　　二宮　義文

第３５回 袖ケ浦市生涯学習推進大会の参加について（依頼）

向寒の候、貴職におかれましては益々ご清祥のことと推察いたします。また、日頃より本市生涯学習の推進につきましてご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび第３５回生涯学習推進大会を別紙のとおり開催することになりました。つきましては、ご多用の折り誠に恐縮に存じますが貴団体の皆様のご参加をお願い申し上げます。

なお、参加者名簿（別紙）を作成し下記のとおりご提出下さいますよう併せてお願いいたします。

記

１　参加依頼人数　　12　名

２　参加者名簿提出先　　袖ケ浦市教育委員会生涯学習課（担当　小川）
（住　所）袖ケ浦市坂戸市場１－１
（電　話）６２－３７４３　直通ダイヤル
（ＦＡＸ）６３－９６８０

３　参加者名簿提出締切日　**令和2年1月24日(金)**

４　バスの運行について　　送迎バスをご利用の方は最寄りの公民館より発着しますので、下記の運行表を見て乗降場所をご記入ください。

行　　き（発時刻）		帰　　り（発時刻）		
平川公民館	１１：１０	市民会館	１６：１５	バスをご利用される方は、各館の正面入口付近でお待ちください。 ※帰りのバスは、市民会館の市営球場側のロータリーより出発いたします。
平岡公民館	１１：２５	長浦公民館	１６：３５	
根形公民館	１１：４５	根形公民館	１６：５５	
長浦公民館	１２：０５	平岡公民館	１７：１５	
市民会館	１２：２５	平川公民館	１７：３０	

５　受付について　　当日、参加される方々は以下の場所で受付を行います。

（①～⑦で受付人数が大きく異なることのないように割り振らせて頂きました。）

標記	所属団体
①体育	体育協会、少年野球連盟、サッカー協会、ターゲットバードゴルフ協会、レクリエーション協会
②文化	文化協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、音楽協会、博物館友の会 市民学芸員、袖ケ浦市国際交流協会
③学校	PTA連絡協議会、幼稚園保護者会、袖ヶ浦高等学校、市内小中学校
④地区	自治連絡協議会、袖ケ浦市子ども会育成会連絡協議会、青少年相談員
⑤協議会連合	シニアクラブ連合会、ボランティア連絡協議会、工場連絡会、商工会、文化財審議会、公民館運営審議会、博物館協議会、図書館協議会、スポーツ推進委員協議会
⑥社教委	社会教育委員、社会教育推進員
⑦サークル団体	市民会館、平川公民館、長浦公民館、根形公民館、平岡公民館、図書館の各所属サークル及び団体

※来賓、感謝状・奨励賞受賞者、実践発表団体の受付は別になります。

第３５回　袖ケ浦市生涯学習推進大会要項

１．趣旨

少子高齢化・都市化・情報化が進み、地域や人どうしの結びつきが希薄になりつつある昨今、以前のように他者と深く関わりながら生きていくことは、より困難になりつつあります。

流動化と孤立化に代表される社会変化の中では個人のニーズが重視される反面、つながり関わる中で生まれる“絆”は、人生をより豊かで生きがいのあるものに変えていく力を持っています。

袖ケ浦市では、市内にある社会教育関係機関、団体、そして個人が緊密につながりあい、支え合いながら幅広く学習機会を提供し合うことで、人々が、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に活かされるような地域社会を目指しています。

このような中、生涯を通して学習することの意義について市民の理解を一層深めるとともに、学習意欲の向上と学習活動への参加の促進を図ります。

２．大会テーマ

「学び　つながり　支えあうまち　そでがうら」

３．主催　　袖ケ浦市社会教育委員　袖ケ浦市教育委員会

４．主管　　袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員会

５．期日　　令和２年２月１５日（土）

６．会場　　袖ケ浦市民会館　大ホール

７．日程　　１２：３０ ～ １３：００　受付

１３：００ ～ １４：２０　【第１部】

(1) 開会のことば（袖ケ浦市社会教育委員委員長）
(2) 生涯学習奨励賞授与・市長あいさつ
(3) 感謝状贈呈・教育長あいさつ
(4) 来賓祝辞（県議会議員・市議会議長）
(5) 実践発表

～休憩～

１４：３０ ～ １６：００　【第２部】

(6)記念講演
（第３８期・第４回市民三学大学講座）
演題：「トーク＆コンサート　さらなる一歩を踏み出そう！」
講師：シンガーソングライター　立木　早絵 氏

(7) 閉会のことば（袖ケ浦市生涯学習推進大会実行委員長）